

【河川教育】

石狩川振興財団は、関係機関・市民団体等を支援し、石狩川の水害や治水の歴史、水利用、流域の風土、水文化、防災、河川環境及び川の安全利用などをテーマに学習活動を実践しています。

実践拠点 「須部都川（ちらいおつ遊び塾の裏）」

『さけ稚魚放流会』

開催日：平成27年4月15日（水）

【活動の概要】

4月15日（水）月形町と「花の里つきがたの水と緑を愛する会」の主催により、サケの稚魚放流会が実施されました。

昨年12月に、千歳のサケ・マスふ化場から提供された卵を、月形町の役場等でふ化させ、約4cmの大きさに育てた1,200尾の稚魚を須部都川に放流しました。

当日は小雨が降る中、地元のちらいおつ遊び塾、花の里保育園、月形小学校3年生、関係者を合わせ140名が参加し、「わたしたちの川に 大きくなって 戻ってきてね」を合い言葉に、丁寧に放しました。

放流会の後は、石狩川振興財団が紙芝居を実演し、洪水について学びました。

【主 催】

月形町、花の里つきがたの水と緑を愛する会

【参加人数】

約140人

【日 時】

平成27年4月15日（水）

【場 所】

須部都川（ちらいおつ遊び塾裏）

【内 容】

- 10:15～10:20 開会挨拶、来賓紹介
- 10:20～10:40 さけ稚魚放流
- 10:40～10:50 記念撮影
- 10:50～11:10 洪水に関する紙芝居
- 11:10～11:15 お礼の言葉
- 11:15 解散



主催者による開会挨拶



無事帰ってくるようお願いを込めて



きてね



洪水についての紙芝居



真剣な表情で紙芝居をみる子どもたち